

《文化交流使の会》

文化交流使経験者が海外や国内で培った経験を広く、日本、世界の文化発展に役立てるため実演します。

【出演】

〈箏〉 山路みほ



奏心〜カナミ〜コンサート

和の音色で日本と世界をつなぐ。箏と尺八の奏でる国境を越えた和の音。

【曲目】

沢井忠夫 / 上弦の曲、
鹿の遠音、沢井比河流 / 斜影 ほか

〈尺八〉 イオ・パヴェル



平成29年8月4日(金)

18:30～19:30 (18:00 開場)



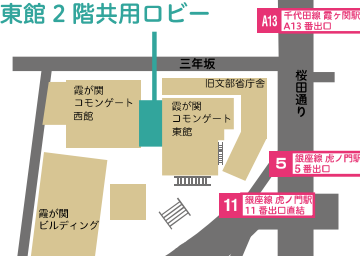
●主催 文化庁/霞が関コモンゲート管理組合/
新日鉄興和不動産株式会社

●入場無料(事前申込不要)

●場所 霞が関コモンゲート東館2階
共用ロビー
東京都千代田区霞が関3-2-2

●お問合せ先
文化庁 長官官房政策課
文化広報・地域連携室
TEL 03-5253-4111 内線(2810)

霞が関コモンゲート
東館2階共用ロビー



箏曲演奏家 山路みほ

東京藝術大学音楽学部卒業。長谷検校記念第5回全国邦楽コンクール全部門総合第1位をはじめ、数々のコンクールにて優勝。全国ツアー（全18公演）、オーストラリアツアー（全25公演）など、国内外にて数多くコンサートを行っている。

2013年度には文化庁より文化交流使に指名され、ロシアではモスクワ音楽院での教授活動を、またロシアをはじめ東欧9か国（ドイツ・イタリア・スイス・スロベニア・オーストリア・スロバキア・ハンガリー・フィンランド・ラトビアの17都市）にて26公演を行う。2016年にもモスクワ音楽院より招聘されリサイタル開催。またロシア国営放送にも出演。日本国内でも「吉幾三ショー」やNHK教育テレビ「芸能花舞台」、NHK-FMラジオ「邦楽のひととき」などにたびたび出演。

邦楽の古典や現代曲はもちろん、洋楽器やオーケストラ、各国の伝統楽器との共演、落語や華道・お芝居・ミュージカルとの共演や朗読コンサートのプロデュースなど、邦楽の枠を超えた幅広い活動を繰り広げている。

現在までに東京・岡山にて7回のリサイタルを開催。

岡山芸術文化賞準グランプリ受賞、倉敷市文化連盟奨励賞受賞、福武文化奨励賞受賞。現在、東京藝術大学同声会、森の会会員。岡山大学非常勤講師。

尺八奏者 イオ・パヴェル

10代の頃、日本の尺八と出会い、その美しい音色に心打たれて尺八を始める。モスクワ音楽院の「民族音楽フェスティバル」に出演し、その後モスクワのテレビやラジオに尺八奏者として多数出演するなど、モスクワで尺八の第一人者として幅広い活動を行う。

2013年に来日、尺八奏者の石川利光氏に師事し日本での演奏活動を開始する。文化庁文化交流使フォーラム、平河町ミュージックス春季公演、日越・絆の夕べコンサート、トッパンホールや岡山シンフォニーホールでのコンサート、能舞台、また美術館やお寺・教会でのコンサートなど演奏活動は日本国内多岐に渡り、2016年にはモスクワ音楽院より招聘されリサイタルを開催。ロシア国営放送にも出演。また内閣府発行の雑誌「TOMODACHI 2017年春号」でも大きく紹介された。

活動はテレビやラジオ等にも多数取り上げられ、BSジャパン「ワタシが日本に住む理由」では、1時間特集を組まれて大きな反響をよんだ。NHK邦楽オーディション合格、NHK-FM「邦楽のひととき」にて演奏が放送される。第22回くまもと全国邦楽コンクール優秀賞受賞。

より多くの人に尺八の音色を身近に感じて楽しんでもらいたいという思いから、全国各地での講演会や学校公演・ワークショップも意欲的に開催している。

国籍や人種、年齢に関係なく音楽を共有したい、また音楽のルーツは一つという思いをもとに、古典のみならずクラシックや現代音楽・朗読音楽などバリエーションに富んだ演奏も行う。現在、東京藝術大学大学院修士課程在籍。

イオ・パヴェル公式HP <http://nomenophema.com/>